

*****目次*****

- P1 今号の TOPICS 寺尾 修
P2 仲間たちの近況報告 (1)
 1 班 堀内 信彦
 2 班 土井 定男
P3 仲間たちの近況報告 (2)
 3 班 鹿本 郁代
 4 班 藤川 宗昭
P4 専任幹事ご挨拶 玉尾 洋一
 リレー随筆 松澤 淑子
P5 自由コーナー 永野 徹
P6 自由コーナー 遊上 眞一
P7 絵画コーナー 中山 勝一
 藤原 雄平
P8 絵画コーナー 藤川 宗昭
P9 樹形ウォッチング 遊上 眞一
P10 俳句・川柳 池田 清
 コーナー 山上 恵子

◇自然と文化だより◇

コロナウイルスが猛威を振るっている。SARSで大騒ぎしたのが2002年でこれも中国南部の広東省で発生したものだった。どうも野生動物を食べる習慣があるのが原因らしい。連日NEWSで大騒ぎをしいている。これを書いている最中もサッカーの公式試合を延期するとTVが言っている。何と迷惑な話だ。今日もマスクを求めて薬局を巡訪した。

これを発行する時分には、笑い話になっていればいいが・・・ Y.T



今号の TOPICS～新副代表ご挨拶

何はともあれ本年度も終了間近

副代表 寺尾 修

調査委員会の専任幹事をお引き受けしただけでなく、“副代表”のお役が回ってきました。何をするのか分からないまま4月5日の総会を迎え、2班の班長代行を行いました。どの議題も皆様のご協力により、問題なく終えることが出来ました。実は“副代表”として実働はこの時だけでした。

本年度は調査委員会が研究発表会の担当ということで、委員会に関する作業が非常に多く発生しました。草本の知識が殆どない当方が、この役をお受けしたことを、日夜後悔しておりました。しかし現実には諸先輩に助けられ、令和2年1月の行事を終えることができ、胸のつかえがとれました。その後、調査委員会の諸先輩が残された観察記録を纏める作業に徹しておりましたが、これも本年度中に製本できる目途が立ち、タイトルの状況となった次第です。次年度は今後の委員会活動を持続する方向性を、皆様と楽しみながら見出していきたいと思っております。

一方では研究科の次年度の新入会員は非常に少ないとの由。調査委員会の状況も同様であり、同じような活動を継続するだけでは組織の消滅を迎えるのでは？と危惧しますが、ここは原点に戻り、調査委員会のスローガン『ワイワイ、ガヤガヤ楽しもう！そしてちょっぴり勉強！』を貫くべしと考える次第です。



ともあれ当方は難しいことは考えず、かつて目標にしていた“認知症予防”も忘れ、植物たちの巧妙かつ逞しい生存戦略を垣間見つつ、武田尾や道場での季節の移り変わりを今後とも楽しみたいと思っております。

青春してますか

1 班 堀内 信彦

青春とは？久しぶりに会った友と飲みながら聞かれた。チョットダンディなヤツでもある。あらぬ想像をして、うらやましいねと言ったらニヤッとして“青春とは心の若さである”（サムエル・カルマン）と言った。それくらい知ってるワ。今のうちに海外行こうと英会話始めた、へエ～と言いながら内心に合うのかいと心配もしてやった。又、と別れたのが2年前。もう会えなくなった。

最近身近な人や、親しかった友達の訃報を聞くと愕然とし、どうにもならないのに先を考えるとチョットナーバスになったりもする。

振り返ってみると、若さの青春は何もかも楽しかった気がする。仕事は適当に頑張り定年、上達しないゴルフに見切りをつけ仲間探しにとシニア自然大学校の門を開けてみた。ここが第2の青春だったかな？人の出会いと知らない世界があった。あれから16年チョット色あせそろそろ“生きがい”を見つけようかな。

余談であるが“生きがい”という概念は日本人特有なものらしい。外国人がこれを知りひどく感じ入ったそうである。

「交野子ども自然体験クラブ」今、シニア自然大学校卒12人の仲間とキャンプ、ハイキング、川遊びなど小学生を集めて遊んでいる。みんな無理がきかなくなって、そろそろと思うが子どもたちの笑顔や親御さんのまた来年もよろしく！と言われ頑張ろうかとなってしまう。

もう一つ、「交野みどりネット」で里山づくりをやっている。交野の山が荒れている！シニア同期の仲間誘われついていったのに、知らぬ間に前がいなくなってしまう。行政と市民との協働。こちらは市民募集のボランティア。いろいろの人に会え、25人くらいが登録している。



ここでは観察会やいきものしらべや里山講座も主催している。

第3の青春は引き続きであるが「里山づくり」を仲間ともう少し高めようかなと。それが満足の行くものでなくても選んだことを後悔しないことにする。“生きがい”はまだ試行錯誤かな。

冬の畑

2 班 土井 定男

シニア自然大学校11期の仲間と野菜作りを始めて10年になりました。約600㎡の畑を8人で耕作しています。300㎡は8人に分割し、残り半分は共同で。畑の周辺は田んぼや畑で日当たりがよく、横には水路があって水やりも容易で抜群の環境です。共同の畑ではあまり手間のかからない野菜を、個人の畑では自分の好きな野菜を作っています。冬の今はダイコン、カブラ、ナバナ、タマネギ、エンドウマメ等を共同の畑で、個人の畑ではレタス、タアサイ、チンゲンサイ、キャベツ等を作っています。テレビや新聞では1月の平均気温が平年を3℃上回り、ダイコン、ハクサイ、レタス等の生育が進んで出荷数量が増えて価格が大きく下がっていると伝えています。



私たちの畑でもタアサイ等では花の蕾が見え出しています。タマネギ、エンドウマメは冬の間に根を広げて春から茎や葉を伸ばしますが、温かいと根が十分に育たないのではと心配です。大阪の最高気温を調べてみると、1月の最高気温が10℃を上回った日は平年で月初めの6日間だけですが、今年は散発的に4日だけ10℃を下回り、残り27日は10℃を上回っていました。最低気温も平年を大きく上回る日が多く、29日は10.7℃もありました。2月になって平年並みか下回る日もありますが、暖冬に終わりそうです。畑の2月は今年の作付け計画を立て



ます。連作障害を避けるために同じ畝に同じ野菜を植えないようにします。ジャガイモの植え付けとタマネギに肥料を施します。近年はホームセ

ンター等で早くから苗が売られて、ジャガイモの種イモも植え付け適期の2月下旬以降には良いものが少なくて困ります。4月末からの夏野菜も同様で、昨年は弱った苗しかなくて育ちが悪く困りました。昨年の畑では反省点もあります。共同の畑で育てているダイコン、カブラの半分は種まきが遅れて大きく育っていません。農作業には「秋の1日は春の1週間」という言葉があります。適期より少し遅れて種まきしたためと思われる。難しいところもありますが、仲間たちと畑仕事を楽しんでいます。

冬の楽しみ

3班 鹿本 郁代

春のスプリングエフェメラルの小さな花が見られる時期や山が錦色になる秋もちろん好きですが、それよりもピンと張りつめた冬が好きです。

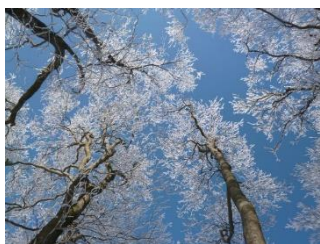
雪山をたのしむ手段の一つ。難しいことは何一つなく、寒さ対策をしてスノーシューをつければ自由に歩き廻れます。青空の下では白い花が咲いたように見える霧氷、樹木を覆い隠す樹氷、そして最後の道が天にまで続くような素晴らしい景色に出会えます。晴れの日をめ



がけて行くと「ワーッ」の連続です。凍った池の上をドキドキしながら歩いたり、小動物の足跡を見つけたり、楽し

みは一杯です。

好きな所はハヶ岳・入笠山・猪臥山・福地山。



近くでは綿向山・大山周辺の小さな山・那岐山など。どれも季節を問わず良い山です。冬、楽しめるように無雪期に下見にしておきます。雪景色がどうだろうと思い巡らすのも楽しみの一つです。

今年は兵庫の山は雪がありません。残念です。岐阜や滋賀の山も少なく、やっと先日、大山近くの山でスノーシューができました。



華甲会のこと

4班 藤川 宗昭

シニア 15 期花組の仲間が月 1 回ペースで続けている野外スケッチの会「華甲会」が 100 回に達したので、今年の 1 月にささやかな記念パーティーを行った。当日は各自最初の頃の絵と最近のうまく描けた絵を持ち寄って並べながら 100 回にも及ぶスケッチ会に話が弾んだ。

講座生の時に花組 1 班の中で自然観察の授業で学んだ草や木や野鳥をスケッチしてその絵をメールで送ってくれていた M さんに誘われて何人かで数回野外スケッチ(水彩画)に出かけ M さんの指導を受けていた。参加者のほとんどが水彩画は初めてで、中には中学校卒業以来絵を描いたことが一度もない者もいた(私もその 1 人)。本科卒業後も続けようと 1 班中心に花組のメンバー 10 数人で M さんを講師として「華甲会」が発足した。春には梅とさくら、秋の紅葉を毎年描いてきた。数年前から一泊の写生旅行が始まり、美山かやぶきの里、大王崎灯台、伊根の舟屋、高野山などで 2 日間楽しく絵を描いた。今年も加太・友が島へ行く予定。

華甲会では行先も現地の写生ポイントも M さん(我々は師匠と呼んでいる。)が用意し、終われば駅前の喫茶店で全員の絵の講評とワンポイント指導があり、その絵を回覧する反省会が待っている。帰れば全員の講評とワンポイント指導のメモがメールで届く。すべて M さんの世話になっている。

現在華甲会のメンバーは男 4 名、女 7 名と M さんの 12 名。皆さんそれぞれ個性的な絵を描き、最初の頃の絵に比べてずいぶんうまくなっている。特に Y さんの点描のようなタッチと独特な色合いの絵は秀逸で先生の評価も高い。そして彼の絵にはいつも一句添えられている。メルヘンチックな N さんの絵、少し漫画チックな Y 女さんの絵はいつもみんなを楽しませてくれる。

いつまで続くかわからないが、年長の M さんがお元気な限り続けて、とりあえず 150 回達成を目指していきたいと思っている。



天王寺公園慶沢園

(2009年)



新梅田シティ・里山

(2018年)

パソコンに親しもう

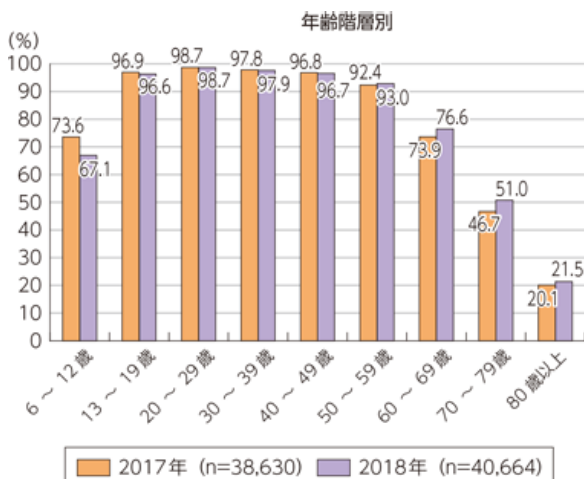
3 班 玉尾 洋一

専任幹事になってから、すでに 11 ヶ月が過ぎようとしています。一番苦心しているのが、「いかにしたら皆さんが、ホームページを閲覧する回数が増えるか」という事です。見てもらうためには興味がある、役に立つコンテンツが含まれているかであり、「天気予報」「乗換案内」のリンクボタンを設け利用してもらうようにしました。カウンターをセットしましたが、現状 11 ヶ月でアクセス数 4200 回の結果です。ざっくり 4 回/人/月しか閲覧してもらってません。まだまだ工夫が足りないのだと反省しきりで、こんなの欲しいと提案いただければ幸甚です。

反面、我が研究科の平均年齢は高く、IT を駆使するのが苦手な方も少なからずおられると推察します。社会人の時に、仕事にパソコンを使っていた方には、抵抗はないと思いますが、そうでない方には、キー操作もおぼつかなく、面倒でしょう。しかし連絡や報告はパソコン(スマートホン)を介してやっており、苦手とは言ってられないのが現状で、社会も同様です。出欠管理をやろうと思いましたが、すべての人が出来ないと二重手間になり、逡巡しています。

2018 年の総務省の調査では、インターネット利用率は 79.8%となっており、非常に高く、端末ではスマートホンが一番となっています。また年齢別では(図1)のようになっています、ご自分と照らし合わせていかがでしょうか？

パソコンが億劫な方、まずキー操作を覚えて、慣れ親しんでください。それさえ出来ればインターフェイスは簡単になっていますので、ネットサーフィンを楽しめます。



(図1)

植物の生存戦略

3 班 松澤 淑子

服部緑地での観察会、冬枯れ色の公園を遠くから見渡すと、梅園あたりがほんのり薄紅色に煙ったように色づき一足早い春の訪れを告げていました。まだ、1 月というのに・・・

近づくくと直線形の枝々には、ぷっくり膨らんだ蕾が今にも開きそうです。

ウメの樹が満開になると、とても華やかで思わず近づきたくなります。でも、ウメが待っているのはヒトでは無いのです。

馥郁とした香りの蜜を吸い、花粉を運んでくれるメジロたちなのです。そして虫たちや、落ちた実を食べて遠くまで種を運んでくれるイノシシ・・・

ウメの花には両性花と雄花があります。雄花は雌しべが無いが、小ぶりで実は出来ませんが、(実を付けすぎる樹が弱るため)この偽？の花が咲くことによって華やかで遠くからでも目立ちます。

メジロは迷わず飛んできて蜜を吸い花粉をまき散らしてくれます。ウメの戦略は大成功なのです。

ツユクサ(別名 ポウシバナ)も生存戦略に優れています。

花の汁で布を染めたことから着き草がツユクサになったともいわれています。

6 月から 9 月にかけて道端や草地に普通に見かける 1 年草。花弁 3 個の内 2 個は大きく、鮮やかな青色でよく目立ちます。1 個は白色で小さく、雄しべは 6 個、そのうち 4 個は仮雄しべで短く葯が黄色でよく目立ちます。残りの 2 個は完全な雄しべで長く花被からつき出ています。この鮮やかな青色と補色の黄色に誘われて虫が仮雄しべの花粉を喜んで食べます。そのとき、残りの完全な雄しべの花粉を体中に付けて運んでくれます。成功です。

ドラマのつづきを楽しみに、さあ、でかけましょう。



参考 NHKe テレ

エッセイ「瞑想三昧（神と仏と宇宙）」

4 班 永野 徹

①歴史の教訓

人類の歴史に始まり地球の歴史を経て漸く宇宙の歴史入口に到達。人生の役割は世代間のバトンタッチかも。子供がいて孫もおれば役割りを果たした事になる。子供がいない人も同時代と一緒に支えたことで役割を果たしている。宇宙と言う無限の世界から見ると「人の一生（寿命 100 年）」は一瞬。いつか地球も太陽も無くなり、人類のいない宇宙が「消滅と再生」を永遠に繰り返すだけになる。

②唯一絶対神（仏様）

西洋と東洋で神に対する考え方が異なると言われているが果たしてそうなのか、仏様も居られる日本では尚更複雑である。「例えば私達の住む宇宙は 137 億年前のビッグバンで誕生して今も更に猛烈なスピードで膨張を続けていると言う。花火のように膨張が止まってよいはずが一段と光速になって膨張を続けているらしい。“エネルギー保存則”は成立しているのか摩訶不思議」。無限に膨張が続くと宇宙は隙間だらけになる。その時銀河系・太陽系・地球はどうなるのか。宇宙に絶対真空は無くあらゆる空間で素粒子が生滅を繰り返す。宇宙の外に空間があるから膨張できることになる。最近の科学では宇宙には子供宇宙、孫宇宙、親宇宙が無数にあるらしい。私達には認識できない無限大の空間が存在していることになる。こんな世界を誰が創造したのかと思う時、西洋人も東洋人も同じく、唯一絶対神が創造したとなる。唯一絶対神は、ギリシャ神話ではゼウス、旧訳聖書ではエホバ、密教では大日如来等で、その分身がキリスト、マホメット、お釈迦様と考えれば西洋も東洋も本質的に神の考え方に相違はないのでは。

③偉大なインド哲学

世界神話・宗教には共通して、混沌としたカオスの状態から世界の誕生が語られている。ユダヤ教・キリスト教・仏教・ギリシャ神話・古事記神話にも共通する。インド哲学（バラモン教等）では西洋と異なり唯一「この世の崩壊と再生」が語られている事が大きな特徴である。ノストラダムスは世界の崩壊まで予言したが再生は述べていない。所がインド神話では「この世の崩壊と再生」が述べられている。インド哲学は現在最先端の宇宙論の成果を瞑想で感得していた事に驚愕する。釈迦如来から

地像菩薩と繋がり弥勒如来が誕生する 56.7 億年後には現在の宇宙は無く人類もいない。インド神話の時間は途方も無く果てしなく長い。以下インド神話の予言内容を抜粋する。

「人々の生きる世界は創造から終焉まで 43 億 2 千万年（現在宇宙論では太陽・地球の寿命は約 100 億年）で、現在は 4 期の最後「カリ・ユガ期」に相当。4 期の世界は紀元前 3000 年頃に始まり、43 万 2 千年後には 7 つの太陽（超新星爆発のように現太陽が 7 倍程度まで膨張すると理解）によって 100 の干ばつが起き、12 年間雨が降り続いた後、大洪水に呑みこまれて無くなると説く。その後、新たに世界は再生されると言い、創造を司る神が「ブラフマー神」で維持を司るのが「ヴィシュヌ神」で、破壊を担うのが「シヴァ神」でこの三神は同一神「トリムルティ（三神一体）」であると言う。」

④最新の宇宙論（素粒子論的宇宙論）

親宇宙・子供宇宙の誕生は S F の世界ではなくアインシュタイン博士の相対性理論・その後の量子論を踏まえた最新の宇宙論によるもの。私達の住む宇宙は「力の統一理論」によれば、宇宙誕生初期段階で「無のエネルギー状態ゆらぎ」により真空相転位が始まり「トンネル効果」により生まれた可能性が高く、その時、無数の「子宇宙・孫宇宙」が同時に誕生していると提唱。宇宙にも誕生が有り、生滅が有り再生が有ると言う。今まで静的な世界だと思っていたものが常に変動しているダイナミックな世界であることを初めて知る。これぞ仏教でいう「諸行無常の世界」。



(人類の歴史)



(ブラフマー神)



(宇宙誕生イメージ)

さきゆ	 さ サネカスラ 樹液を塗って 美男子に	 き キリ植えて 幹は十分 育ったが	 ゆ ユリノキは 葉は半纏で 花チューリップ
解説	粘りのある樹液を、整髪料として利用していました	女の子が生まれたので桐を植え、その木で嫁入りに筆笥を作って持たせるつもりでした	ユリノキの別名は、葉の形で半纏木。花でチューリップツリー
めみし	 め メタセコイアは めっちゃ せこいや	 み ミヤマキリシマ ピンクに染まる 九州の山	 し シラカバの 白い花は 高原の華
解説	他意はございません。単なる語呂合わせです	森林限界を越えた九州の火山で、圧巻のスケールで咲きます	白と緑の組み合わせが、爽やかな高原にピッタリ
ゑひも	 え エゴノキの 果皮に毒あり えぐい味	 ひ ヒメジョオン 姫は茎を 抱きません	 も モチツツジ 触ると粘って 餅のよう
解説	果皮にはエゴサポニンという有毒成分が含まれています	よく似ているハルジオンは、茎上部の葉が茎を抱きます	餅躑躅の名前の由来は、各部に腺毛が多く、粘ることを餅にたとえた
せすん	 せ センダンの 実を数えて 首痛くなる	 す スズキの葉 見ればかじって みたくなる	 ん シン・ウツン 植物かるたは 難しい
解説	葉が落ちた後、高木に果実が鈴なりにぶら下がっています	観察は五感で行なうもの。酢の木か臼の木か、かじって確かめましょう	「ん」の木は、松江城のお堀端にありました。これでめでたく 48 枚揃いました

金沢・雪の浅野川

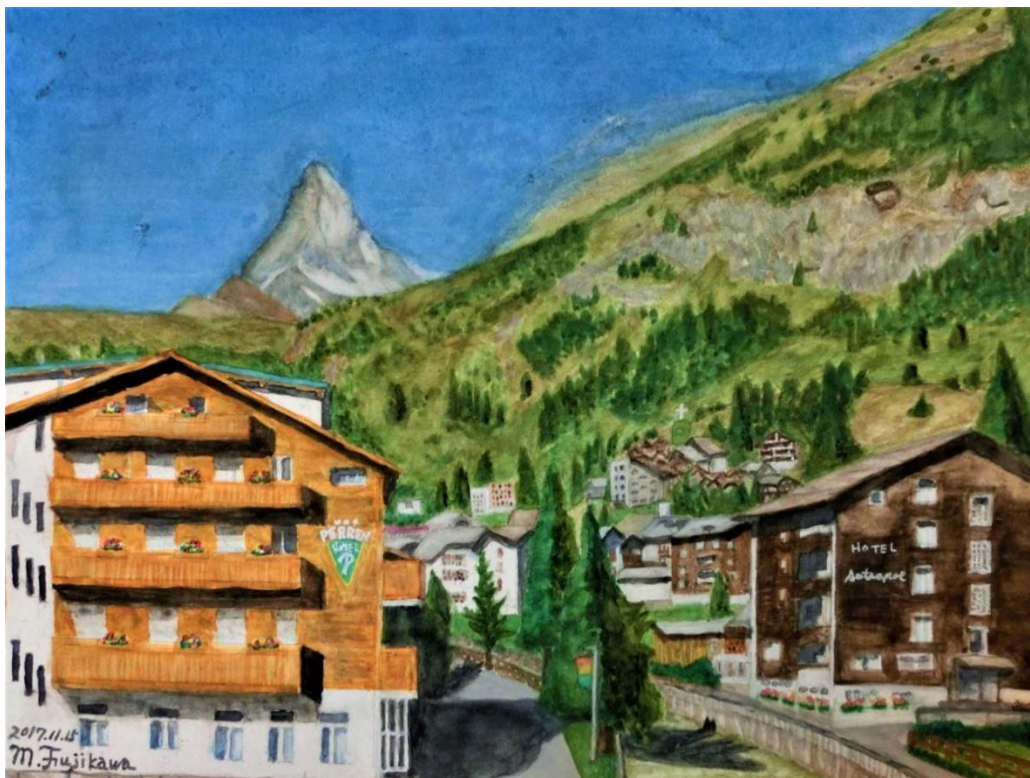
4 班 中山 勝一



入日前

4 班 藤原 雄平





マッターホルン（ツェルマット）



ユングフラウ（ヴェンゲン）

数本で 1 本 / 1 本で数本？



万博記念公園の芝生広場に生える アキニレ（左）とクスノキ（右）。葉が茂っている時期には分かりませんが、アキニレが落葉した時に見ると クスノキは 右半分しか育っていません。



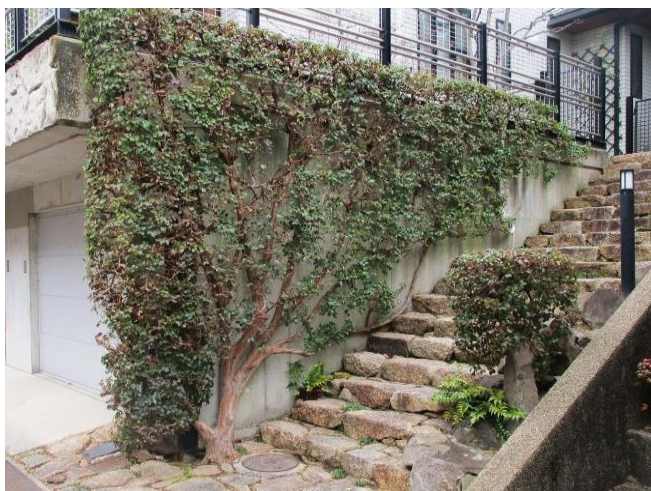
但馬 別宮の大カツラ。
真ん中の初代の樹勢が弱ると
沢山のひこばえが出て株立ち
になっています。



尾瀬のランドマーク、
3 本カラマツ。
遠くからでも 良く目立
ちます。



長居植物園の 7 本ラクウショ
ウ。樹冠が きれいに揃って
いますね。



左下の根元から階段に沿って幹と枝を伸ばす
トキワマンサク。しっかり見ないと 1 本の木
だとは気が付きませんネ。



生垣に見えますが、じつは左奥の 1 本のクロ
ガネモチ。枝を長く伸ばして 生垣風に仕立て
てます。

俳句

- ・ 薄氷の隙間に光る魚の影
- ・ 薄氷の踏み破られし通学路
- ・ 豊穡の土と化したり野焼の火



- ・ 新しき命を宿す冬芽かな
- ・ 日暮れてもなほ真白なる雪柳

俳句

- ・ サッと身を躲されました咳一つ
- ・ 活け在りし水盤に生ふ木の芽かな
- ・ 春雷よ菅公の怒りまだ解けず



川柳

- ・ ウィルスで戒厳令を疑似体験
- ・ 予定表中止中止の字が並び
- ・ 「宿題」
人生の忘れ物まだ仕上がらず

コロナウィルスを気にしながら編集をして
第 44 号も無事(?)発行することができました。
非常事態にかかわらず発行出来ました
事、投稿いただいた皆さまに感謝です。

(広報委員会)